

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月18日 (2010.3.18)

【公開番号】特開2008-293273(P2008-293273A)
 【公開日】平成20年12月4日 (2008.12.4)
 【年通号数】公開・登録公報2008-048
 【出願番号】特願2007-138117(P2007-138117)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/24 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 B

G 0 6 F 17/60 1 7 4

【手続補正書】
 【提出日】平成22年2月1日 (2010.2.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ジョブが実行される装置であるジョブ実行装置にて実行されるジョブに関する情報を管理するジョブ管理装置と通信可能であり、前記ジョブ管理装置において記録される、前記ジョブ管理装置にて実行されたプログラムの実行結果である第 1 の実行結果を検証する情報処理装置であって、

前記ジョブに関する情報を変更するためのコマンドを前記ジョブ管理装置に送信する変更コマンド送信部と、

前記コマンドに応じて前記ジョブ管理装置にて実行される前記プログラムの実行結果である第 2 の実行結果を記憶する第 2 実行結果記憶部と、

前記ジョブ管理装置から前記第 1 の実行結果を受信する第 1 実行結果受信部と、

前記第 1 の実行結果と前記第 2 の実行結果とを比較することにより、前記第 2 実行結果記憶部に記憶されている前記第 2 の実行結果に一致する実行結果が前記第 1 の実行結果に含まれているかどうかを判断する判断部と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の情報処理装置であって、

前記変更コマンド送信部は、前記ジョブ管理装置において前記プログラムを実行する所定のユーザを特定するユーザ特定情報を付帯させて前記コマンドを前記ジョブ管理装置に送信し、

前記第 1 の実行結果には、前記プログラムを実行したユーザを示すユーザ名が付帯されており、

前記ジョブ管理装置から送信される前記第 1 の実行結果のうち、前記所定のユーザを示す前記ユーザ名が付帯されているものを前記第 2 の実行結果として受信する第 2 実行結果受信部を備えること、

を特徴とする情報処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の情報処理装置であって、

前記ジョブに関する情報を変更するための前記コマンドに応じて前記ジョブ管理装置において前記プログラムが実行された場合に生成される前記第 1 の実行結果にマッチするパターンを記憶するパターン記憶部と、

前記ジョブ管理装置から受信した前記第 1 の実行結果のうち、前記第 2 の実行結果のいずれにも一致しないものを選出し、選出した前記第 1 の実行結果が前記パターンにマッチするかどうかを判断する指示外実行判断部と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の情報処理装置であって、

前記ジョブ管理装置から送信される、前記コマンドに応じた前記プログラムが実行されることにより変更された前記ジョブに関する情報を受信するジョブ関連情報受信部と、

受信した前記ジョブに関する情報の履歴を記憶する変更履歴記憶部と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 5】

ジョブが実行される装置であるジョブ実行装置にて実行されるジョブに関する情報を管理するジョブ管理装置と通信可能であり、前記ジョブ管理装置において記録される、前記ジョブ管理装置にて実行されたプログラムの実行結果である第 1 の実行結果を検証する情報処理装置における情報処理方法であって、

前記ジョブに関する情報を変更するためのコマンドを前記ジョブ管理装置に送信する変更コマンド送信ステップと、

前記コマンドに応じて前記ジョブ管理装置にて実行される前記プログラムの実行結果である第 2 の実行結果を記憶する第 2 実行結果記憶ステップと、

前記ジョブ管理装置から前記第 1 の実行結果を受信する第 1 実行結果受信ステップと、

前記第 1 の実行結果と前記第 2 の実行結果とを比較することにより、前記第 2 実行結果記憶ステップに記憶されている前記第 2 の実行結果に一致する実行結果が前記第 1 の実行結果に含まれているかどうかを判断する判断ステップと、

を有することを特徴とする情報処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するための本発明の主たる発明は、ジョブが実行される装置であるジョブ実行装置にて実行されるジョブに関する情報を管理するジョブ管理装置と通信可能であり、前記ジョブ管理装置において記録される、前記ジョブ管理装置にて実行されたプログラムの実行結果である第 1 の実行結果を検証する情報処理装置であって、前記ジョブに関する情報を変更するためのコマンドを前記ジョブ管理装置に送信する変更コマンド送信部と、前記コマンドに応じて前記ジョブ管理装置にて実行される前記プログラムの実行結果である第 2 の実行結果を記憶する第 2 実行結果記憶部と、前記ジョブ管理装置から前記第 1 の実行結果を受信する第 1 実行結果受信部と、前記第 1 の実行結果と前記第 2 の実行結果とを比較することにより、前記第 2 実行結果記憶部に記憶されている前記第 2 の実行結果に一致する実行結果が前記第 1 の実行結果に含まれているかどうかを判断する判断部と、を備えることとする。